

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年11月6日 VOL. 76

静岡県警察学校で認知症サポーター養成講座を開催しました



11月1日(木)に**県警察学校**(葉梨)にて今年度2回目の認知症サポーター養成講座を行い、**112名**が受講しました。

ロールプレイでは、警察官が認知症の方に対応をする場面を想定して、学生2人1組がチャレンジしました。

1度目のロールプレイでは「焦ってどうしたらよいかわからなかった」と対応に困っていましたが「①認知症とは? ②認知症の人と家族の気持ち ③認知症の人への対応の基本姿勢」などを学んだあとは同じ場面の対応にチャレンジすると、一人は高齢女性に寄り添い優しく落ち着くように語りかけ、もう一人は、安全確保のために車の誘導を始めるなどの変化がありました。これは“認知症の人への対応ガイドライン”の中に“声をかけるときはひとり”とあったので、本人の元へ行かないサポートを考えたようです。

キャラバンメイト(講座の講師)から「**役割分担をして誘導するという発想が出てきたのは素晴らしい**」「**とても優しい気持ちを感じた。その気持ちのまま警察官になって活躍してほしい**」とエールが送られました。

各職種が本市の在宅医療・介護の取組を広く発信しています

10/3(水) あざれあ

県訪問看護ステーション協議会
主催 研修会



「**医療機関の看護師研修**」の37人の受講生に「**地域包括ケアシステムに向けた行政の役割**」の講義を、藁科地域包括ケア推進課長が行いました。受講者アンケートでは全員が「わかった」と答え、「今まで行政の事業を身近に感じなかったが、興味がわきました」という感想がありました。

10/20(土) 浜松市

日本腎臓病薬物療法学会
学術集会



10薬
月事
24日
日報
日掲
載載
20
18年

藤枝薬剤師会曾根庸介薬剤師が慢性腎臓病(CKD)の重症化を予防するため、藤枝市立総合病院、志太医師会、藤枝薬剤師会、藤枝市(健康推進課・国保年金課・地域包括ケア推進課)が一体的に実施している「**守れ腎臓!ふじえだCKDネット**」の成果を報告し、注目が集まりました。(監修:藤枝市立総合病院腎臓内科 山本副院長)

10/26(金) 伊豆の国市

在宅医療を支える
多職種連携の継続推進



伊豆の国市が主催する多職種連携研修会に、藤枝市立総合病院**落合医療ソーシャルワーカー**と志太医師会在宅医療サポートセンター**川村在宅医療コーディネーター**が講師に招かれ、専門職約100人に、ネットワークシステム「シズケア*かけはし」を通じての連携や、活用の経過及び好事例を報告しました。